

## 【ヘブル人への手紙11章】

「信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを  
確信させるものです。」(ヘブル11:1)

「信仰とは目に見えないものの実体を示して保証し、それを、ただの希望としてではなく、すでに現実として見ているかのように確信する事である。」とあります。神様の語り掛けに耳を傾けて応答し、行動を起こすことです。今パトモス、テサロニケ、ピリピにチームが派遣されています。16名の方が参加されていますが、彼等は信仰を働かせて今現実に参加しています。また、7月23日から白馬キャンプが行われます。これはみんなに語り掛けられている事です。勿論様々な理由で行けない人もありますが、それを自分に語り掛けられたと信じて、信仰を使い祈る時に、厳しい現実であっても、神様が働いて下さり、費用が与えられ、体力が与えられ、道が開かれていきます。

この章には信仰によって賞賛された人々の事が載っています。

4節アベルは神に最良のものを捧げたことによってその信仰を誉められました。同じ捧げ物でも、心のこもっていないカインの捧げ物に、神は目をとめられませんでした。使徒5章には折角献金したのに、「聖霊を欺いて」捧げたことによって、死んだ夫婦の事が載っています。この事を聞いたすべての人たちに、非常な恐れが生じ、神のみ前に悔い改めが起こりました。その結果、使徒5:12~のように、多くのしるしと不思議なわざが人々の間で行われたと書かれています。私達はリバイバルを待ち望み、聖霊の働きを待ち望んでいるので、神様のみ前にきよめられ、信仰をもって、聖霊様の通り良い管となれるように心を守っていきましょう。

8節アブラハムは75才の時、神の言葉によって、行くところを知らず旅立って、約束の物は手にしませんでした。更にすぐれた天の故郷に目を向けて、信仰の歩みを全うしました。祝福の約束はイサクを通してなされるのに、そのイサクをいけにえとして捧げるという耐えられないような試練にあった時も、神は死者の中からよみがえらされるという偉大な信仰を持って、神の言葉に聞き従うことが出来ました。彼は「信仰の父」と呼ばれています。

信仰は聞くことによります。毎日聖書を読むことによって信仰を強めることが出来ます。「(聞く)耳のある者は～聞きなさい。」と黙示録にあります。(2:7,2:17,3:6etc.)霊の耳を開かれて、神の言葉を聞くことが出来ますように。また、み声新聞の「牧師つれづれ日記」は信仰を使って祈ることの生きた証しが載っています。信仰の従順が、後の日にどのような祝福をもたらすか！という素晴らしい証しです。雲の間にある虹誌、逆転の勝利者、シロアム等を用いましょう。この11章には具体的に信仰を用いて神の栄光がどのように表れたかが載っています。どうかご自分で読まれて、更に祈り、神に喜ばれる信仰を持って歩み、栄光が大きく表れてゆきますように！

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.7.14 No.745

### 今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。  
地よ。聞け。私の口のことばを。  
私のおしえは、雨のように下り、  
私のことばは、露のようにしたたる。  
若草の上の小雨のように。  
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

**栄光を私たちの神に帰せよ。**

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。  
主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32:1~4



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>